



3年～6年 コミュニケーションを図ろう

外国語 児童自らプロデュースする 活用型の授業

1 はじめに

外国語活動は、「①言語や文化を体験的理解し、②積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付け、③外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむこと」によって、「コミュニケーション能力の素地を養う」ことを目指しています。つまり、世界のことに思いを馳せながら、学んだコミュニケーションの仕方や表現を進んで活用して、友だちや先生とコミュニケーションを図ることが外国語活動の基本であると言えるでしょう。授業計画を立てる際には、児童が英語を使う機会を確保し、目標-内容-評価の三位一体化を図っています。

2 「活用型」授業のアイデア

「成田市小学校英語年間指導計画3年～6年」をもとに、活用を意図して工夫改善した実践を紹介します。

| 学年 | 月 | 「活動テーマ」/主な活動 |
|----|-----|------------------------------------|
| 6年 | 6月 | 「行ったことはありますか」 経験したことを話し合う活動 |
| | 9月 | 「フリーマーケットを開こう」 フリーマーケットで実際の売り買い |
| | 11月 | 「もてなす」 レストランでゲストをもてなす活動 |
| 5年 | 6月 | 「学校を案内しよう」 校内オリエンテーリング、学校案内 |
| | 9月 | 「地球探検」 外国のことを調べて発表する活動 |
| | 11月 | 「世界の食べ物」 ファーストフード店での買い物模擬体験 |
| 4年 | 10月 | “What's Halloween?” |
| 3年 | 9月 | ようこそ、ティーパーティ |

(1) 行ったことはありますか

将来自分が行ってみたい国をはっきりと言い、理由を尋ねられて即座に答えるインタビュー活動を行う。

(2) フリーマーケットを開こう

一人ひとりが不用ではあるが捨てるには惜しい小物を持ち寄り、1～3円程度の値段をつけて実際に売り買いする。集まった収益金は募金とする。

(3) もてなす

国際交流活動で実際にレストランを開き、外国人ゲストに飲み物や食べ物を提供して親しく会話する。

(4) 学校を案内しよう

国際交流活動で外国人ゲストを実際に案内する。

(5) 地球探検～世界の食べ物

将来行ってみたい国の名所旧跡について、コンピューター等を使って調べ、段ボールなどで作ったテレビで外国のレポートをする形式の発表会をする。そこで調べたことをもとに、ご当地メニューや商品カードも自作して、ファーストフード店での買い物模擬体験をする。

(6) ハロウィンパーティ・ティーパーティ

児童の計画により、内容や方法を決めて実施する。

3 おわりに

外国語活動を通して、言語や文化について体験的に理解を深めていくには、児童が自らプロデュースする活用型の授業実践が必要であると思われます。そこで、本校では年2回、全学年が国際交流活動を行っています。3年生以上の学年は活動内容や方法を児童の話し合いをもとに計画します。司会進行等の役割も児童が務め、前述のような活用型の授業で身に付けたコミュニケーション能力を発揮しています。活動の活性化のために、毎回12人の外国人ゲストを招いています。ゲストを集める工夫として、7月、12月の学期末に実施することにより、市内中学校のALTも招くことができています。3学期には、1年間のまとめとして1年生と6年生がお互いにスキットを披露したり、5年生が成田空港の近くのホテルへ行って英会話体験活動をしたりしています。

